

令和4年4月7日

令和4年度 学校経営方針

新宿区立東戸山小学校

校長 宇山 幸宏

1 学校経営の基本的な考えと3つの願い

たとえコロナ禍にあっても、子どもたちの安全・安心を第一にできることを前向きに考え、東戸山小学校の教育環境を存分に生かした魅力ある教育活動を展開していきましょう。

先が見えない予測困難なこれからの時代をたくましく生き抜くためには、自分で考え、自分の言葉で、自分が感じたことや意見をはっきりと表現できる「自立する子ども」を育てていきましょう。また、多様性を受け入れ、“みんな”が喜びを感じて生きていける社会を創ろうとする力を身に付けていくことを大切にしていきましょう。

私は、以下の3つの願いをもって、本校を経営していきます。

- (1) 教職員は、東京都の、新宿区の、東戸山小学校の保護者が求める教育者・職員としての使命を果たし、児童一人ひとりの人権を尊重し共感的に向き合い、児童が相談したくなる大人を目指しましょう。また、児童の悩みや『困り感』に気づき、実態に応じた指導・支援を通して、未来を担う子どもたちの人生のファシリテーターになりましょう。
- (2) 家庭は、家族が協力してよいところを見つけ励まし、健やかな成長を願い、支えていきましょう。また、家族円満で温かい子育て環境をつくりましょう。
- (3) 地域・関係諸機関は、児童の成長を願い支えていただくとともに、温かい挨拶が通い合い、地域の絆が深まる環境をつくっていきましょう。また、児童や教職員の願いに応じて、どのような支援ができるかについて、一緒に考え、共に教育活動を創っていきましょう。

★児童を真ん中に置いて、学校・家庭・地域が連携・協働し、東戸山小学校流の教育を創ります！

2 東戸山小学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、知性と感性に富む心身ともに健康な「自立するこども」の育成を目指し、次の目標を定める。

- ◎ すすんで学ぶ子【重点目標】
- なかよく力を合わせる子
- 心とからだをきたえる子

3 目指す学校像

すべての“いのち”が笑顔で喜びあふれる学校

東戸山小学校の校歌の歌詞から、“みんな”、“えがお明るく”、“元気いっぱい”の3つの言葉が、心に残りました。笑顔は、自然に湧き出てくるもの、プライズレスの魅力あるしぐさです。

『みんなが笑顔になって、元気いっぱい毎日過ごしていくこと』が、私の幹にあるシンプルな願いです。

一人一人の“いのち”、人は多様です。これからの時代は、多様性（ダイバーシティ）の時代です。人種や文化、性別、年齢、障害の有無にかかわらず、全ての人々が互いを尊重し、認め合い支え合うべき時代になっています。LGBTへの理解もより一層深めていかなければなりません。

私たちは、一人では生きていけません。私たちは、互いの弱さを知るからこそ、支え合って生きていく。コロナ禍にあっても、学校が人と人とをつなげるコミュニティであることも学校の役割の一つだと考えています。

季節ごとに移りゆく戸山公園の豊かな自然、白ヤギの「スマイル」のふれあいを通して学び合う“いのち”、保護者・地域の方々との交流・連携活動、本物から学ぶ魅力的な教育活動、ユニバーサルデザインの視点を生かした誰もが分かる授業づくり、日常的な交流及び共同学習、共に学ぶことと体験を重視した学習等、開校73年目を迎える東戸山小学校は、素晴らしい学校です！

子どもたちを真ん中に置いて考えましょう。学校が家庭と地域が連携・協力して、全ての子どもが、『明るく』、『楽しく』、『元気よく』なれるような学校を協働して創っていきたいと考えています。

4 目指す教職員像

明るく、楽しく、“みんな”が元気になることを考え行動できる人

私たちは、常に、子どもを尊重し理解することを大切にしていきます。全ての子どもたちと、元気で明るく向き合える教職員になることを目指します。東戸山小学校の子どもたちとも、自分の家族や愛する人とも、笑顔で向き合うために、学校の働き方改革を推進していきます。

★健康第一！子どもたちと向き合うためには、心も体も元気な教職員であってほしい。

★明るく前向きに！新型コロナウイルスの感染拡大で、教育活動が制限されている今だからこそ、できないことを指摘するよりも、何ができるかを明るく前向きに考えて実現していく教職員であってほしい。

★楽しく！明日も学校に行きたいとみんなが思えるような学校にしていきたいと思います。自分だけが楽しいのではなく、“みんな”が楽しくなることを考えて行動できることを求めています。

私たち教育公務員には、人を育てる、人格の完成を目指す使命があります。また、自ら考え、決断できる人、自立の基礎をはぐくんでいかなければなりません。

教職員は、「教育」という狭い世界ではなく、グローバルな世界と出会うべきであると考えています。たくさんの人と出会い、自分の好きなジャンル以外の本も読み、学区域や新宿区内、多様な現場に出向いて体験を積み重ねていく時間が必要だと考えています。私は、その経験の蓄積こそが、人としての魅力に磨きをかけることになると考えています。

5 教育目標を実現させる具体的な方針

方針1 主体的に思考・判断・表現し、自ら考え行動できる「自立する子ども」をはぐくみます。

子どもたちの疑問や発見から生まれる「問い」を大切に、既習内容を活用し、自分なりの答えにたどり着く主体的・対話的な学習過程を大切にしていきます。

また、タブレット端末を学びのツールとしてフル活用し、自ら学んだことを適切に発信・表現できる児童を育成し、新宿区版GIGAスクール構想の実現を目指します。

さらに、本校の素晴らしいところを“みんな”で見つけ、地域や新宿のよさを実感し、児童がわくわくする学びを大切にしていきます。

【主な教育活動・取組】

- ◆一律一斉の学びから、自分に合った主体的・対話的で深い学びへの授業改善
- ◆誰にも分かりやすく落ち着いて学習に取り組めるユニバーサルデザイン化の推進
- ◆タブレット端末を学校でも家庭でも地域でも学びに活用できる新宿区版GIGAスクール構想の実現
- ◆新発見への連続、調べることが楽しくなる「図書館を使った調べる学習コンクール」への挑戦

方針2 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、活用・発信を目指します。

一部の教科・領域の知識や技能を学力とは捉えません。学習指導要領、社会に開かれた本校の教育課程、学校経営方針等に則り、学校の教育活動全体を通して身に付けた総合的な生きる力を学力と考えています。

知・徳・体のバランスが大切で、知識・技能の定着がゴールではなく、本物から学ぶ活動や体験的な活動を通して、自ら試して活用することにより、自分の学び方に自信を付けさせたいと考えています。

また、児童一人ひとりの長所を見つけ伸ばすとともに、短所にも向き合い、自ら長所に変えていけるようしっかりと児童の文脈や気持ちに寄り添っていきます。すぐにできるようになることもあれば、時間がかかることもあります。日常的な連絡や個人面談等を通して、家庭とともに一緒に考えていきます。

【主な教育活動・取組】

- ◆学力向上重点プランに基づく、個に応じた学力向上策の推進
- ◆「本と出会い、本から学び、発信する」読書活動の推進
- ◆自ら体を動かしたくなる運動の日常化を目指した体力の向上
- ◆学んだことを生活や学校で活用・実践できる児童の育成

方針3 よりよく生きる心を養い、“いのち”を感じ、“いのち”と向き合う “いのち”の教育を推進します。

人のよさを見つけて認め合い、寛容的に受け入れる環境。そして、児童が安心して認め合える環境。日本は、先進国の中で「孤独」を感じている子どもの割合が一番多く、「寛容さ」が一番低いと言われています。

私たち東戸山小学校の“みんな”で、常に根幹に置いて考えていきたいことは、“いのち”です。生きとし生けるもの全ての“いのち”は、かけがえのないものであり大切にしていかなければならないこと、私たちが生きていくこと自体が奇跡であること、子どものことを愛し大切に思っていることを、家庭や学校、地域で伝え続けていくことは、児童の成長の上で欠かすことができない重要なメッセージです。

【主な教育活動・取組】

- ◆豊かな人間性と社会性をはぐくむ教育活動の推進
- ◆相手意識で磨く全教育活動を通じた道徳教育の推進
- ◆「みんなちがって、みんないい」障害者理解教育の推進
- ◆ヤギや小動物の飼育活動を中心とした“いのち”の教育の推進

方針4 多様なコミュニケーション能力の育成を図る教育を推進します。

A I化や急速な技術革新が進む時代だからこそ、多様な人々とかかわり、対話する中で、自分の意見や願いを明確にもち、相手に伝えるとともに、他の人の意見や願いを傾聴し理解し、自分をブラッシュアップしていくことは、とても大切な生き方であると考えます。

学校での学びと出会い、地域社会とのかかわり、家族との団らん、友達との遊び等、今を生きるその全てが児童の育ちと学びと自立の基礎を創ります。

また、人は、個性や特性、強みと弱み、多様なものをもっていて、みんな違っていています。それが当たり前であることを忘れてはいけません。元気な時もあれば、辛く悲しい思いを抱いている時もあります。東戸山小学校の子どもたちが、多様な人との交流や学びを通して、どのような逆境の時も安心して自分のよさを発揮して伸びていけるよう“みんな”で支え合っていきたいです。

【主な教育活動・取組】

- ◆児童の笑顔を引き出す魅力ある教育活動の推進～『笑顔』が脳を活性化させる～
- ◆グローバルな国際理解教育と生きてはたらく外国語活動の充実
- ◆児童理解を深めるための幼保子小中の連携教育の推進
- ◆オリンピック・パラリンピック教育の推進

方針5 保護者・地域・関係諸機関と連携・協働し、安全・安心な学校教育を推進します。

かげがえのない東戸山小学校の児童の“いのち”を大切にしていきます。一度亡くしてしまった“いのち”は、戻ってはきません。私たちは、子どもたちの心と体、“いのち”を守り抜きます。

その尊い“いのち”が尽きるまで親の愛情を信じていたであろう子どもたちが虐待により絶たれてしまったという報道は、非常に残念なことです。毎年あります。

私たち教職員は、児童から発する何気ないSOSに気付き、現実に向き合っていかなければなりません。学校だけではなく、保護者・関係諸機関と連携して、児童虐待を防止・根絶し、児童が夢や希望をもっていきいきと生きていけるよう支援していきましょう。

また、学校では児童の人権を尊重していきます。児童の人権を尊重することができないのであれば、教育者としての使命は絶対に果たせません。

そして、はっきりしていることは、体罰や不適切な指導をする人は、指導力のない人であるということです。サービスを厳守し、体罰を根絶し、指導力・対応力を向上させて、児童と真摯に向き合っていきます。

【主な教育活動・取組】

- ◆学校危機管理マニュアルに基づく学校の安全管理の徹底
- ◆子どもたちと笑顔で向き合うための学校の働き方改革の推進
- ◆いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策の推進
- ◆不登校や出席停止児童等への学びの保障と絆を深める活動の推進
- ◆児童虐待防止、体罰根絶による児童の“いのち”と人権を守り抜く取組の推進